

## 和光市協働事業【平成25年度実施事業】中間ヒアリング報告書

事業名	和光市ホームスタート
日 時	平成25年11月26日（火）
場 所	和光市役所304会議室
出席者	事業実施団体 NPO法人わこう子育てネットワーク 森田・八木・近江 担当課 こども福祉課 茂呂・田村 市民活動推進課 渡邊・新坂・大竹

### ●事業概要

事業名	和光市ホームスタート事業
-----	--------------

事業主体	事業実施団体	行政（担当課）
	NPO法人わこう子育てネットワーク	こども福祉課

事業費	契約額
	1,000,000 円

事業内容	育児不安等をかかえた就学前の乳幼児を養育する家庭に、研修を受けた地域の子育てボランティアが家庭訪問し、傾聴と協働による支援及び地域の関係機関への連携を図ることにより、地域での安定した家庭生活を支え、地域による子育て支援体制の整備及び家庭福祉の増進を図る。
------	---

＊注意：団体から提出された報告書の「実績」欄は、9月末現在のものであったため、ここではヒアリングにて報告された最新のものを書き加えて記す。書き加えたものには、下線を引く。

## ●事業進捗

### ●事業進捗

	当初	進捗状況
事業 スケジュール	(1)ホームビジター養成講座 8日間 (14コマと面談)	(1)ホームビジター養成講座 参加者 15名 □1日目、9/19、市役所 602、 ①オリエンテーション②ホーム スタートの内容・意義(オーガ ナイザー) □2日目、9/26、サンアゼリア会 議室 ①庭とは何か(保健医療科学院 福島富士子先生) ②家庭で活動するうえでのポイ ント(ホームスタートジャパ ン理事田中輝子さん) □参加者:養成講座受講者15名、 オーガナイザー3名 □募集広報の取り組み ホームペ ージ、市内掲示物、市報、和光 新聞 □成果物:募集チラシ300部 ■11月7日に全14コマ(8日間) が終了した。
	(2)トラスティ会議 (年2回)	(2)トラスティ会議 未開催(10/22、ホームビジター 15名登録) ■10/22 実施済み。
	(3)家庭訪問支援 (15件以上)	(3)家庭訪問支援活動 □期間 4月1日から9月30日 □訪問数16件(昨年度から継続2 件含む)*11/26時点21件 □訪問回数 82回 (ビジターとオーガナイザーのの べ訪問回数は100回)*ビジ ターとオーガナイザーが一緒に 訪問することもある。 □直接の家庭訪問以外の関連活動

	<p>オーガナイザー打ち合わせ会議 (月1回)</p> <p><input type="checkbox"/>成果物 ホームスタート案内チラシ 4000部</p>
(4)ビジターフォローアップ講座 (年4回)	<p>(4)ビジターフォローアップ研修</p> <p>①4/23、白子コミュニティセンター和室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキームの現状報告・今後の予定・子育ての詩の紹介・ビジター近況報告</li> <li>・参加人数：ビジター5名、オーガナイザー3名</li> </ul> <p>②7/11、保健センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松岡太郎先生(豊中保健所医師)講演(保健センター主催)</li> <li>・「専門職が連携して、児童虐待を予防し、早期発見するために」</li> <li>・参加人数：ビジター3名、オーガナイザー3名</li> </ul> <p>③10/30</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>ビジター養成講座</u></li> </ul> <p>④11/30</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>関東ビジターデーにビジター達が参加</u></li> </ul> <p>⑤2/5頃(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>当初予定に無かったが、研修を実施する。</u></li> </ul>
(5)活動報告会 (年1回)	<p>(5)活動報告会</p> <p><input type="checkbox"/>10/31 サンアゼリア会議室</p> <p><input type="checkbox"/>参加者 33名</p>
(6)オーガナイザー スキルアップ研修参加 (年1回)	<p>(6)オーガナイザースキルアップ研修参加</p> <p><input type="checkbox"/>10/26.27 大正大学</p> <p><input type="checkbox"/>3名参加</p>
	<p>(7)その他の取り組み</p> <p><input type="checkbox"/>周知のため、保健センターの1歳6か月健診に訪問し、毎月案内</p> <p><input type="checkbox"/>民生委員児童担当向け学習会、わ</p>

		こう助産院全戸訪問担当助産師 向け学習会開催 <input type="checkbox"/> ファミリーサポート講座でのP R
事業変更理由 *事業内容の変更や 計画どおりに進め られなかった理由 をご記入ください。	—	

\*担当課への確認

- ①事業スケジュールどおり進捗していますか。  はい  いいえ
- ②事業成果指標の達成に向けて取り組んでいますか。  はい  いいえ

●事業成果指標

		当初	進捗状況
団	事業 成果 指標	訪問家庭15件	9月末日で16件 <u>*11月26日時点で21件</u>
体	コメン ト	市との協働事業になったことで、広報がスムーズになったこと、信頼感が 増したこと、民生委員さんや全戸訪問担当者向けの学習会を実施して紹介 ケース促進に力を入れたこと、に加えて、これまでに増して掲示板ウェブ サイト、メディア等への働きかけをしたことが訪問件数増加につながった。	

その他の意見等

- 【団体】ホームビジターの成果指標は15名。17名の応募があり、面接の結果ビジターになるのは厳しい状況と思われた2名はお断りした。15名全員がホームビジター養成講座を修了した。
- 【団体】1家族1件としてカウントしている。ホームスタートを開始したら、1件として  
 いる。(相談数等は含めていない。)
- 【団体】21件中、終了している家族は13件。
- 【団体】規定回数の4回以内で訪問が終了することが多い。双子のいる家族は規定回数  
 倍の8回となる。
- 【団体】市との協働事業として行ない、今年度はホームスタートの利用まで至らない電話  
 問合せが増えた。電話問合せ数のカウントをしているので、業務完了時に報告す  
 る。

## ●協働の進捗

### (1) プロセスの積み重ね

	団体	担当課
①事業進捗状況の報告を定期的に行っていますか。	はい	はい
②問題が生じたときに、すぐに話し合っていますか。	はい	はい

### (2) 事業の広がり

協働事業の実施により、新しいつながりや連携が構築されましたか。

団 体	【具体的内容】 □民生児童委員との連携が構築された。(学習会の実施) □保健福祉部長が直接関心をもって参加された。⇒ビジター養成講座修了式
担 当 課	【具体的内容】 研修を受け、登録されたホームビジターが、利用者の家に訪問し、活動することで、地域のボランティア(ホームビジター)と子育て家庭とのつながりが構築された。また、ひきこもりがちであった子育て家庭が、社会と繋がるきっかけにもなった。

#### その他の意見等

【団体】広報に掲載されたことで、「市の事業だから信頼できる」と考え、ホームビジター講座に参加した人が多かった。そこから新たなつながりが出来た。

【担当課】上記の内容は、活動報告会の際、担当課がホームスタート利用者から直接聞いた。

### (3) 市民満足度の向上

	団体	担当課
事業の受益者の満足を得ることができましたか。	はい	はい

受益者の満足度を調べるためにそれぞれどのようなことをしましたか。

団 体	最終的にいつも利用者が評価する手続きになっているが、その結果から。また活動報告会に事例報告者としてお願いした受益者(子育て中のお母さん)のコメントから。
担 当 課	活動報告会に参加し、利用者やホームビジターの体験談や感想を直接聞いた。

その他の意見等

【市活】利用者が人前で自らの体験を直接話すというのは、とても勇気がいること。活動報告会で利用者の体験談や感想を聞いたことは大変効果があることではないか。

【団体】利用希望者には、訪問の様子をVTRで見せるようにしている。

団体 担当課

事業の受益者以外の市民全体の満足度の向上を感じられましたか。 はい はい  
 どのようなことで感じたかを下欄にご記入ください。

団 体	紹介ケースが増えた。また、支えてでもあるビジター養成講座の申し込み数が定員いっぱいでお断りしたケースもあった。
担 当 課	子育てに対するストレスや育児不安を解消、軽減させることは、児童虐待を予防することに繋がる。

(4) 協働基本原則

「和光市協働指針」では、市民と市が協働を円滑に進めていくための以下の6つの基本原則を定め、これをお互いが理解し、常に協働基本原則に則って取り組んでいくこととしています。これらに則って事業に取り組めましたか。

	団体	担当課
①「相互理解の原則」	はい	はい
②「目的・評価共有の原則」	はい	はい
③「自立の原則」	はい	はい
④「対等の原則」	はい・いいえ	はい
⑤「役割分担明確化の原則」	はい	はい
⑥「情報公開の原則」	はい	はい

■団体が④で、「はい・いいえ」と回答している。どのようなことで取り組めなかったか。

予定以上の利用者数で予算不足になり、オーガナイザーの人件費が不足気味で、事

務手続き等がボランティアになっていること。

#### その他の意見等

【団体】具体的には、報告書作成や1歳6ヶ月検診の周知活動等をボランティアで行なっている状況である。ただ、1歳6ヶ月検診の周知活動は契約当初予算には入っていなかった。オーガナイザー人件費の中に周知活動による人件費が含まれているので、その中でやりくり出来るようにしている。

#### ■役割分担について

	当初
団体	利用者の募集 訪問支援 ビジターのリクルートと養成 フォローアップ トラスティ会議の開催 関係各所との連携 事務手続きおよび事業報告
担当課	広報協力 トラスティとして事業のバックアップ 会場等の提供 報告

#### ■役割分担の中で良かった点や改善点をご記入ください。

団体	講座開催時の場所を押さえてもらったのはよかった。 年度途中の会議 トラスティとしての協力
担当課	家庭への直接的な支援は事業実施団体が行うことにより、行政の介入時の様に構えることなく、気軽に利用者が利用できる。また、市の事業として周知することで、信頼感が増し、利用の増加に繋がった。

#### その他の意見

【団体】その他に良かった点として、保健福祉部長がビジター養成講座修了式に出席したこと、広報わこうやHPでの周知が効果的だったことを挙げる。また、民生委員に対し学習会を実施した。

協働事業の実施にあたり、どのようなメディアを活用して事業のPRをしましたか。その代表的事例を左欄に記入し、また、協働事業の実施により、事業の社会的認知度が向上したかどうかを、右の欄にその理由と併せてご記入ください。

団 体	<p>【PR事例】</p> <p>市報での広報</p> <p>ウェブサイトでの広報</p>	<p>【社会的認知度の向上】</p> <p>ビジター養成講座の申込者が増えた。</p> <p>利用者申し込みが増えた。</p> <p>ホームスタートを知っている人が増えた。</p>
--------	---	--

情報公開について、どのような手段で情報発信をしましたか。

担 当 課	ホームページやチラシ配布による周知を行った。
-------------	------------------------

#### その他の意見

【団体】市との協働事業として行なったことで、ホームスタートが周知され、利用者及び団体の信頼度・安心度が増した。

### (5) その他

協働事業を実施する中で、現在苦勞している点、これからの懸案事項、印象に残っていること、良かったこと等がありましたら、下欄にご記入ください。

団 体	協働提案事業で徐々に協働できていくのがとてもよかった。ありがとうございます。
担 当 課	15件以上の利用を目指して事業を開始したところ、9月末時点で、既に16名の利用申請があった。訪問は無償ボランティアであるが、それに伴う交通費、ビジターを養成するための研修費用などが、利用の増加に応じて掛かる。来年度は埼玉県が実施する地域子育て支援拠点事業費補助金を活用してさらなる財源を確保し、安定した事業を提供していきたい。

#### その他の意見等

【団体】提出様式が細かく定められていることなど、大変なことも多いが、補助金により事業を行なうより、協働型事業委託の方が市関係性が深くなり良いと思う。